

～年頭のご挨拶～



大阪木材工場団地協同組合
理事長 中畑 安伴

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

平素は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対して格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成最後の年にあたる昨年は、各地で頻発する地震をはじめ過去25年以内で最大規模とされる台風21号の上陸等の自然災害に直面し驚愕した一年でございました。

その影響は想像を超える甚大なものであり、現在も各地で修復作業が追いついていない状況下に、改めて工場団地の災害に対するの基盤づく

りの強化を急務と捉えている次第でございます。

一方、昨年末には「命輝く未来社会のデザイン」をテーマにした2025年大阪万博開催決定という喜ばしい一報が入りました。

2020年開催の東京オリンピックに続く国家プロジェクトとして、大阪が活気づくことと期待しております。

さて、私共の協同組合では、前理事長から引き継いだ「汚水処理場跡地周辺用地の有効活用検討」を進め、漸く貸借先を確保する運びとなりました。併せて、老朽化した共同倉庫施設につきましても解体工事を無事に完工し、現在、その周辺用地の整備計画も含めて鋭意検討を行い、引き続き工場団地の付加価値向上を目指して参ります。

また、協同組合の周辺では、大型商業施設の建設も予定され工場団地を取り巻く環境も大きく変化することが予想されますが、どのような状況下においても揺るぐことなく皆様に愛される協同組合として



堺市長 竹山 修身

明けましておめでとうございます。

大阪木材工場団地協同組合の皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また旧年中は、堺市政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴組合は、昭和37年の設立以来、共同施設の整備や視察研修など、各種事業を精力的に推進され、組合員企業の活性化に積極的に取り組んでこられました。

中畑理事長をはじめ、歴代役員ならびに組合員の皆様のご努力に対し、心から敬意を表する次第です。

昨年は全国各地で災害が立て続

けに発生しました。堺市でも台風21号の被害は甚大なものでした。貴組合におかれましては、BCP(事業継続計画)策定による災害対応時ににおけるマニュアルの明確化をはじめ、防災・減災を目的とした各種事業を通じて「災害に強い団地」に向けた取組を進めておられます。

いざというときのために、とても重要な取組であると思います。

美原区では、総合的な防災拠点となる「(仮称)堺市総合防災センター」の整備を進めており、2021年度にオープンを予定しています。このセンターを活用し、地域の皆様と共に「災害に強いまち・堺」の実現に向けた取組を進めてまいります。

また、産業振興に関しては、設備投資減税や、IoT導入促進などにより、生産性向上を支援し、市内中小企業の競争力強化に取り組んでまいります。

長きにわたり、地域経済の振興に

健全な運営をしていく所存でございますので、引き続き協同組合並びに美原団地協議会の運営に変わらぬご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

結びに代えまして、新しい年が皆様方にとりまして実り多き年であり、ますよう、心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



寄与していただいております貴組合におかれましては、引き続き、確固たる存在感を発揮していただきながら、より一層発展されることをご期待申し上げます。

結びにあたり、本年が、皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますとともに、大阪木材工場団地協同組合ならびに組合員企業各位の益々のご繁栄を祈念申しあげまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

組合からの発信